

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- 1) 棚卸資産の評価は、最終仕入原価法を採用している。
- 2) 固定資産の減価償却方法は、定額法により帳簿価額を直接減額している。
- 3) 消費税に関する会計については、税込み方式でおこなっている。
- 4) 引当金の計上基準について
退職給付引当金は、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- 5) 資金の範囲
期末における資金の範囲は、現金、預貯金、未収金、立替金、預り金及び前受金を含めている。
なお、前期末残高及び当期末の内容は、3に記載するとおりである。

2. 基本財産増減及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
定期預金	5,000,000	5,000,000

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金	70,313	56,154
普通預金	47,848,152	50,586,306
定期預金	7,000,000	7,000,000
未収入金	177,000	175,200
前払費用	31,127	0
合計	55,126,592	57,817,660
前受金等	460,953	500,074
預り金	830,186	661,564
合計	1,291,139	1,161,638
次期繰越収支差額	53,835,453	56,656,022